様々な分野で国際化が進む中、言語や文化背景の異なる人々と接する機会が増えてきています。「そもそも文化って何？」「どうして対立が起こるの？」など、異文化間コミュニケーションにまつわる疑問について一緒に考えてみませんか？知識や経験がなくても大丈夫。一人一人が思ったことや感じたことを大切にする参加型プログラムです。世界への第一歩を踏み出そう！

開催日：2010年12月18日（土）～19日（日）〔1泊2日〕

会　場：**横浜市野島青少年研修センター**（シーサイドライン「野島公園駅」徒歩約8分）

定　員：30名（神奈川県内に在住・在学・在勤の高校生世代）

費　用：3,500円（宿泊費、朝・夕食費込み）

主　催：**財団法人かながわ国際交流財団、神奈川県**

◆過去のセミナーより◆

世界は自分が知っているよりもずっとずっと広いんだってことを肌で感じられたし、ただ広いだけじゃなくとても深いんだって分かりました。セミナー中、刺激を受けっぱなしでした。

レクチャーやワークショップを通して、同じことでもどの視点から見るかによって、見え方ががらっと変わることに気づくことができました。

今回の一番の宝物、それは新しい仲間に出会えたことです。こんなに語り合える、リスペクトできる同世代の仲間ができるとは思っていませんでした。これからもお互いを刺激し合える素敵な関係でいられたらと思います。

≪プログラム≫

交流ゲーム
初対面でも仲良くなれちゃうゲームです。

レクチャー
コミュニケーションや言葉の専門家のお話から、自分と異なる文化に出会ったときの心構えについて考えよう！

1日目　12月18日（土）

10:00　開会式
10:15　**交流ゲーム**（50分）
11:15　**レクチャー①「多文化社会に生きるー異文化間コミュニケーションの大切さ」**（75分）
　　〇細谷 早里さん（関東学院大学 経済学部 准教授）
12:30　昼食
13:30　**ワークショップ**（90分）
15:00　**コーヒー・ブレイク**（45分）
15:45　**レクチャー②「目に見えないものを考える**
　　ーことばと異文化間コミュニケーション」（75分）
　　〇荒川 洋平さん（東京外国語大学 留学生日本語教育センター 准教授）
17:00　**全体のふりかえり**（30分）
17:30　夕食
18:30　**グループ・ディスカッション①「〇〇について語ろう」**（150分）
21:00　自由交流
22:00　就寝

ワークショップ
身近な例を通して、自分と異なる習慣や価値観を持った人とのコミュニケーションについて考えよう！

コーヒー・ブレイク
お茶とお菓子を囲んでみんなと楽しくコミュニケーションしよう！

2日目　12月19日（日）

07:30　朝食
08:30　**グループ・ディスカッション②「〇〇について語ろう」**（140分）
11:00　**グループ発表**（30分）
12:00　講評
12:20　閉会式
13:00　終了・解散　　※プログラムは変更になることがあります。

グループ・ディスカッション
ひとつのテーマについて少人数でとことん話し合おう。頭と心をフル回転して議論した先に見えてくるものとは？？

２日間のプログラムを修了した方には修了証書が授与されます。

◆ ファシリテーター・講師のプロフィール ◆

田中 幸子さん（全体ファシリテーター）

American University (Washington, D.C., USA) International Training and Education 修士課程修了。企業勤務の後、1995年よりERIC国際理解教育センターの研究員/ファシリテーター。2000年以降、NGOスタッフとしてカンボジアでの教育/保健医療支援プロジェクトを実施。現在、ERIC ファシリテーターとして人権教育や開発教育などの参加型研修を行うほか、途上国の人材育成支援活動にも携わる。

細谷 早里さん（レクチャー①）

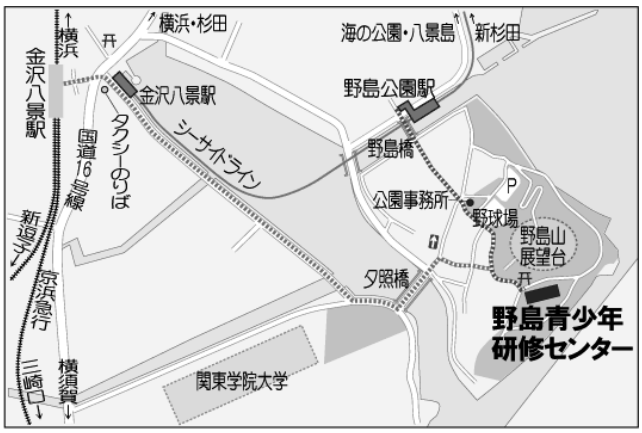
上智大学、大学院を経て1996年カリフォルニア大学ロサンゼルス(UCLA) Graduate School of Education, Social Science and Comparative Education博士課程修了。教育学博士。1998年より現職。異文化間教育を専門とし、現在は特に、多文化社会のための教員養成と異文化間能力を研究している。2006-2007年にフィンランド、ヘルシンキ大学にて在外研究。日本とフィンランドをはじめとするヨーロッパ諸国を主なフィールドとして研究。

荒川 洋平さん（レクチャー②）

1961年、東京生まれ。立教大学文学部仏文科卒業。ニューヨーク大学教育学大学院修了。デューク大学アジア太平洋研究所助手、国際交流基金日本語国際センター専任講師を経て1999年から現職。専門はメタファー研究を中心とした応用認知言語学。『もしも…あなたが外国人に「日本語を教える」としたら』[正・続]（スリーエーネットワーク）、『日本語という外国語』（講談社）など著書多数。

≪募集要項≫

名　　称	**第 18 回湘南国際村青少年国際セミナー** **「世界の入口に立とう～異文化間コミュニケーションって何だろう？～」** Kanagawa Program of International Training（K-PIT）
開 催 日	2010 年 12 月 18 日（土）～ 19 日（日）〔1 泊 2 日〕
会　　場	**横浜市野島青少年研修センター**（横浜市金沢区野島町 24-2 野島公園内） http://www2.ocn.ne.jp/~yyda2/koutsu/koutsu.html
募集人数	30 名　※定員を超える応募があった場合は、志望理由等を基準に選考します。
参 加 費	**3,500 円（宿泊費、朝・夕食費込み）** ※会場までの往復交通費、および昼食費は含みません。 初日の昼食はお弁当をご持参ください。
応募資格	**神奈川県内に在住・在学・在勤の高校生および同年代（1992 年 4 月 2 日～1995 年 4 月 1 日生まれ）の青少年**　※国籍、学校等への在籍は問いません。
応募方法	**次ページの「参加申込書」に必要事項をご記入の上、下記申込み先まで FAX または郵送にてお送りください。**なお、このチラシは KIF のホームページからもダウンロードできます（http://www.k-i-a.or.jp/shonan/work/k-pit/index.html）。
申込締切	12 月 2 日（木）≪必着≫
通　　知	**参加決定者には、12 月 3 日（金）以降に「参加のしおり」を発送します。** ※到着は郵便事情によります。
宿　　泊	**同性同士の大部屋となります。**



【問合せ／申込み】
財団法人かながわ国際交流財団　湘南国際村学術研究センター
担当：尾﨑、今井、小松
電話：046-855-1822　　FAX：046-858-1210　　メール：ozaki@kif.ac
住所：〒240-0198 神奈川県三浦郡葉山町上山口 1560-39 湘南国際村センター内
ホームページ：http://www.k-i-a.or.jp/shonan/work/k-pit/index.html

※セミナー当日に撮影した写真等は、各種広報に利用させて頂く場合がございますので、ご了承の上お申込み下さい。

≪参加申込書≫

申込書送付先：〒240-0198 神奈川県三浦郡葉山町上山口 1560-39 湘南国際村センター内
かながわ国際交流財団「K-PIT 担当」 **FAX 番号：046-858-1210**

※ご記入いただきました個人情報は、本セミナーに関するご連絡に利用いたします。当該個人情報は主催者のみが取り扱い、第三者には一切提供いたしません。また、当財団イベントのご案内をさせていただくことがあります。

募集要項の内容を承諾の上、第 18 回湘南国際村青少年国際セミナーへの参加を申込みます。

ローマ字			保護者名（自筆）	
氏　　名	姓	名		
生年月日	１９　　年　　月　　日（年齢　　歳）		性別	男　　女
連絡先（書類送付先）	住所（必須）：〒 電話番号（必須）：　　FAX 番号： メールアドレス：			
所属	所属団体名 or 学校名 学年：　　年			

志望理由

★当てはまるものに○をつけてください【いくつでも】

1.友だちを作りたい	2.思い出作り	3.新しい自分を見つけたい
4.将来の進路を見つけたい	5.前に参加してよかった	6.先生に勧められた
7.進学・就職に有利	8.新しい知識を得たい	9.他の人の考えを知りたい
10.知らない人と議論をしたい	11.専門家の話を聞きたい	12.ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝについて学びたい
13.国際協力・交流に関心がある	14.世の中の役に立ちたい	15.その他（　　）

★意気込み、メッセージなど（応募者多数の場合に選考の参考にします。）

これまで K-PIT に参加したことがありますか（　はい　いいえ　）
はいの場合→（　　年　　月頃の K-PIT に参加）

事務局使用欄	